



自然回帰水の製水器。家庭用は工事費別で16万円くらい。メーカーはタイセイ株。



鱈の干物、海老、肉。自然回帰水に30分漬けてから冷蔵庫に入れると、生臭さがなくなつて、おいしくなる。



買って3日後の野菜。「水に漬けているうちに、みるみるピンピンに」(田沼さん)

製水器

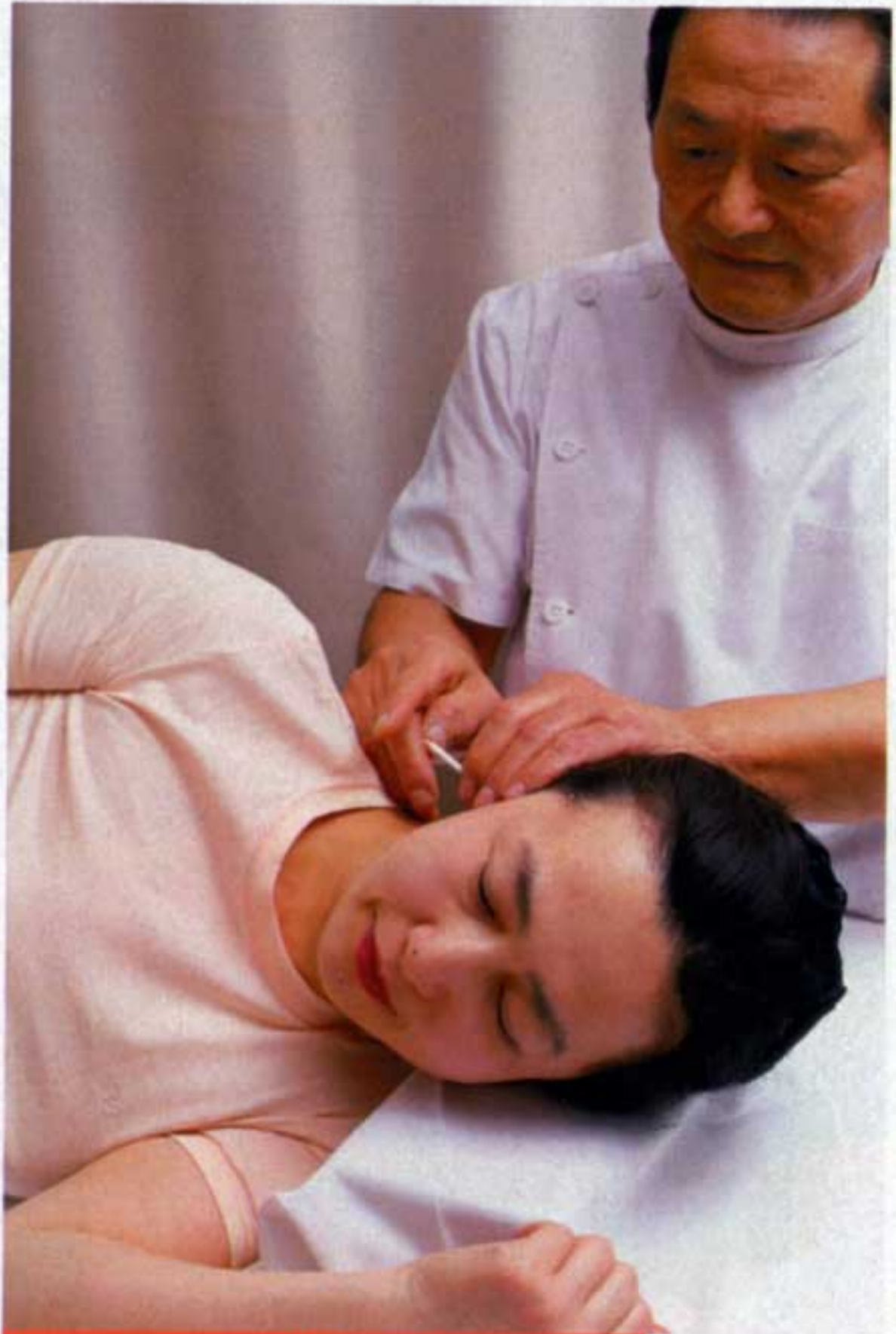
田沼敦子さんが、自然回帰水に出合ったのは、2年半ほど前のこと。「久しぶりに会った友人が、あまりにも元気そうなので、理由を尋ねた。そうしたら、水だよ水、って」

ペットボトルに詰めたものを飲んだら、さらさらとしておいしい。ただの浄水ではなく、クラスター(分子の集団)が小さいのだという。「水の効果そのものよりも、友人を信じて、診療所を改築するとき、自然回帰水を作る製水器を設置した」それが、スゴイ水だった。論より証拠を撮影当日、披露してくれた。「この野菜、買ったのは3日前なの」見れば、高級スーパーで買ったばかりのごとく緑鮮やかでハリがある。「この水に30分漬けてから冷蔵庫に入れたの。こっちの肉と魚も買ったのは3日前。生臭くないでしょう」確かに――。

診療の合間に講演会も行う。話を聞くと元気になると追っかけファンも多い。その源は、水と薄井先生だ。

診療所を出るときから、私の1週間が始まるんです。

薄井鍼灸院には医者に見放された人も多く通う。いつも予約が一杯。残念ながら新規に通うのは、ほぼ困難。



はり
鍼

いもラクになった、と。「健康になった、病気が治った、と信者みたいになっている人もいますので。私にはそういう実感はないけれど、体にいいと思っっている。ペットボトルに入れて持ち歩いているから、清涼飲料水など飲まないようになっただけでも、いいかな」いまでは自宅にも、この製水器を設置している。

自然回帰水を「命の水」と呼ぶ田沼さんには、「命の恩人」と呼ぶ人がいる。鍼灸師の薄井五十公さんだ。「14年前に原因不明の手のしびれが。CTで見てもなんともない、何をしても治らない。それが、友人の紹介で薄井先生のところに来たら、3回通っただけで治ってしまった」

学生時代からひどかった肩こりも、うそのようにすっきり。以来、体調のコントロールのために毎週水曜日に通っている。「先生は人間の体を熟知されている。それに、人間としての器が大きい！単に鍼治療でラクになるというだけでなく、心からリラックスできる。信頼できる、なんでも言える、安心できるんです」

医者に見放された人も大勢通う。「私の1週間は、先生のところから帰る水曜日に始まるんです。体がラクになって、心も癒されて、さあ、今週も頑張ろうって」

きっかけは、どちらとも人との出会い。それが結果的に田沼さんの元気を支えている。

食品を元気にする不思議な水と心まで癒してくれる恩人。

田沼敦子さん 48歳 ためま・あつこ 高浜デンタルクリニック院長